

# 一般建築物石綿含有建材調査者講習受講申込書

様式第1

＜太枠内のみ黒ボールペンで記入してください。誤記入は二重線（＝）で訂正の上、訂正印を押印ください。（修正液等は厳禁です）＞

		受講番号		修了証番号	
受講コース	11H	受講日	開始日	令和	年 月 日
			修了日	令和	年 月 日
受講者	フリガナ				
	氏名	※本人確認書類に記載してある通りに記入下さい		※旧姓または通称の併記をご希望の方は記入して下さい	
	生年月日	昭和・平成	年	月	日
	住所	(〒 ー )	携帯電話	ー	ー
		電話番号	ー	ー	
		FAX	ー	ー	
勤務先	フリガナ				
	会社名	担当者名			
	所在地	(〒 ー )	電話番号	ー	ー
			FAX	ー	ー

本人確認書類及び修了証等の貼付欄

※枠からはみ出す場合は別に添えて下さい

## 科目免除要件

右記該当する写しを貼付

該当コースに○印	受講資格	必要な添付書類及び経験証明
1	●労働安全衛生法別表第18第23号に掲げる石綿作業主任者技能講習を修了した者	左記修了証の表裏面写し
2	●学校教育法による大学(短期大学を除く。)において、建築に関する正規の課程又はこれに相当する課程を修めて卒業した後、建築に関して2年以上の実務の経験を有する者	卒業証書又は卒業証明書の写し 実務(従事)経験証明
3	●学校教育法による短期大学(修業年限が3年であるものに限り、同法による専門職大学の3年の前期課程を含む。)において、建築に関する正規の課程又はこれに相当する課程(夜間において授業を行うものを除く。)を修めて卒業した後(同法による専門職大学の前期課程にあっては、修了した後。4において同じ。)、建築に関して3年以上の実務の経験を有する者	
4	●学校教育法による短期大学(同法による専門職大学の前期課程を含む。)又は高等専門学校において、建築に関する正規の課程又はこれに相当する課程を修めて卒業した後、建築に関して4年以上の実務の経験を有する者(3に該当する者を除く。)	
5	●学校教育法による高等学校又は中等教育学校において、建築に関する正規の課程又はこれに相当する課程を修めて卒業した後、建築に関して7年以上の実務の経験を有する者	
6	●建築に関して11年以上の実務の経験を有する者	実務(従事)経験証明
7	●労働安全衛生法等の一部を改正する法律(平成17年法律第108号)による改正前の労働安全衛生法別表第18第22号に掲げる特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者で、建築物石綿含有建材調査に関して5年以上の実務の経験を有する者	左記修了証の表裏面写し 実務(従事)経験証明
8	●第一種作業環境測定士及び第二種作業環境測定士であって、建築物石綿含有建材調査に関して5年以上の実務経験を有する者	実務(従事)経験証明
9	●建築行政に関して2年以上の実務の経験を有する者	
10	●環境行政(石綿の飛散の防止に関するものに限る。)に関して2年以上の実務の経験を有する者	
11	●労働安全衛生法第93条第1項の産業安全専門官若しくは労働衛生専門官又は同項の産業安全専門官若しくは労働衛生専門官であった者	実務(従事)経験証明
12	●労働基準監督官として2年以上その職務に従事した経験を有する者	

## 実務(従事)経験証明欄

実務(従事)期間	S・H・R 年 月 日
	S・H・R 年 月 日
	(通算 年 ヶ月)
上記のとおり受講資格にかかる記載事項に相違ないことを証明いたします。	
証明年月日	令和 年 月 日
所在地:	_____
事業所名称:	_____
事業者 職・氏名:	_____
会社印	_____ ※シャチハタ不可
役職印	_____ ※シャチハタ不可

## 本人確認書類

- 自動車運転免許証の写し(有効期限内)
  - マイナンバーや本籍地記載のない住民票原本(6ヶ月以内)
  - 外国籍の方は、在留カードの写し(有効期限内)
- ★旧姓の併記をご希望の方は「旧姓を併記した住民票」の原本、もしくは「自動車運転免許証」の写しを提出して下さい。通称の併記をご希望の方は「通称を記載した住民票」の原本を提出して下さい。いずれも本籍地記載があるものは、黒塗りにして下さい。

## 株式会社人財学園 所長 殿

上記の通り受講申込み致します。

受講申込者は、本申込書を提出することで同意したものとします。

実施管理者印	確認者印
_____	_____

記載事項に虚偽等がある場合、受講後と言えども法律に基づく処罰があったり、修了証が無効となったりしても異議申し立ては致しません。当社は、個人情報保護法に基づき、本申込書は講習の目的以外には使用せず、取扱いには十分な管理を徹底しております。